

「エボラ出血熱緊急対応基礎研修」 募集要項

NGOの安全管理能力向上を目指すNGO安全管理イニシアティブ（JaNISS）では、主に途上国で活動するNGOが、エボラ出血熱などを初めとした感染症が発生した場合の、活動継続・活動休止・同国内避難、出国避難、本邦撤退などの可能性を検討し、合理的な判断のもと、ネクストアクションへつなげるための学びの場として、『エボラ出血熱緊急対応基礎研修』を開催します。

昨年度の「国際協力 NGO のための感染症対策講座」に引き続き、感染症関係の学びの場としては、2回目の実施です。今年度は、未だ終息を見ず、研修テーマとしてニーズの高いエボラ出血熱をテーマとした研修を実施します。

活動地もしくは活動地域近隣で罹患患者を確認した場合、どのような情報に基づいて、どのような対応を組織またはスタッフとして行うことができるかを学び、発生時の応急方法（近づいてはいけなところの指定、消毒・滅菌などの徹底、スタッフの行動履歴の管理、最新情報の情報源確保等）についても、必須となる知識とそれに基づく対応方法の学びを目指します。

* 研修講師及び JaNISS は、各団体の「ネクストアクション策定」にかかり、研修をとおしたサポートを行います。ネクストアクションの内容決定は各団体の責任に基づきます。研修講師及び JaNISS は、ネクストアクションの決定に対し、何ら責任を負うものではありません。

実施体制として、国際医療福祉大学 国際医療協力部および医学部所属の専門家による講義と、グループワークを予定しており、現場での実用を目指した研修内容となっております。

医療職の方にとっては医療的な対応が必要となった場合の指針をレビューし、また職種を越えた幅広い情報収集の場として、また医療職以外の職種の方におかれましても、活動継続の判断方法を医療的な観点からも学ぶことができる充実した研修です。

皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

【日時】2020年2月4日（火）14時～17時

* 研修終了後、近隣地域にて、懇親会開催の可能性あり。（予算：3,000円前後）。

【場所】国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス（東京都港区赤坂 4-1-26）

<https://akasaka.iuhw.ac.jp/about/access/index.html>

【主催】国際医療福祉大学/NGO安全管理イニシアティブ（JaNISS）

【講師】国際医療福祉大学 国際医療協力部 和田耕治教授、医学部 加藤康幸教授

【内容】エボラ出血熱に関する基礎的知識を習得し、活動地周辺での流行状況に応じた待機・回避などの判断、及び現地での応急対策を検討するために座学・グループワークをとおして、必要な知識を得る。* 日本語での実施。

【対象】国際協力 NGO、および海外で活動するその団体・企業

* 役員、職員、専門家、ボランティア等身分は問いません

一団体から複数名参加も可能ですが、応募状況により、優先順位をつけて頂く場合があります。

【定員】最大 30 名

【参加費】

JaNISS メンバー-NGO 所属： 1,000 円

JaNISS メンバー以外の NGO 所属： 2,000 円

NGO 以外の所属（政府機関、国際機関、企業等） 5,000 円

【交通費補助】首都圏外に本部を置く団体からご参加の場合、可能な範囲で自組織からのご負担をお願いしております。しかし、状況に応じて交通費の補助申請が可能です。希望する団体は、応募時に以下をご連絡下さい。

①往復の利用経路、利用交通機関

②交通費補助を希望する理由

* 原則「組織所在地もしくは参加者自宅から研修会場までの「直行直帰」。研修参加以外の用務にかかる経路を本交通費補助に含むことはできません。

* 申請時には、申請書と領収書の提出が必要です。

【申し込み〆切】2020 年 1 月 26 日（日）

【申し込み方法】以下のウェブサイト/QR コードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/xSagRo8jQ6vjwE7C9>



【お問合先】NGO 安全管理イニシアティブ（JaNISS）運営事務局 担当：榊

（特活）国際協力 NGO センター-JANIC 内）E-mail : janiss-info@janiss.net